

## 遊林ランドにペレットボイラー

遊林ランド種山のお風呂のボイラーが、四月から木質バイオマスエネルギーに変わりました。環境と経済の好循環を実現し、その取り組みを普及させることを目的とした、環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」でペレットボイラーを導入したものです。

熱利用が効率的で、地球環境に優しい木質バイオマスエネルギーのお風呂は、お湯がやわらかく、湯上りに肌にピリッとする感触がなく体が温まる。」と来場者になかなか好評なようです。



地球環境に優しいペレットボイラー

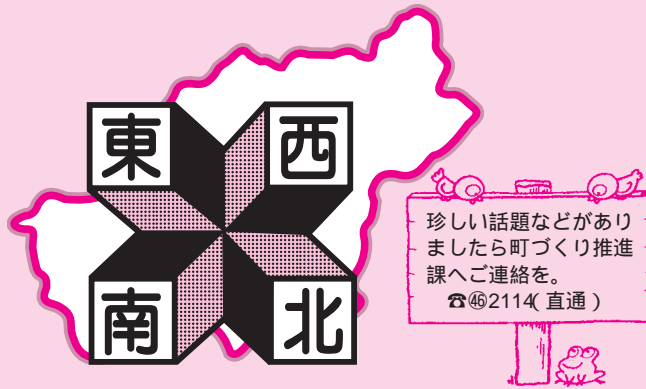
## 空を泳ぐ鯉のぼり

四月十五日、新町親睦会（細谷勝男会長）企画の鯉のぼりが今年も清水橋の上を泳ぎはじめました。この日は、朝はあいにくの雨のため作業は夕方からとなり、六十七本の鯉のぼりをあげました。今年も鯉のぼりが一本も集まらず、今後も、続けていくために、家庭で不要になった鯉のぼりを提供してほしい。」と呼びかけていました。

連絡先 細谷勝男会長宅  
☎ 46-3620



清水橋の風に泳ぎ爽快な鯉のぼり



珍しい話題などがありましたら町づくり推進課へご連絡を。  
☎ 2114(直通)

## 町民総参加で気仙川をきれいに



川沿いでごみ拾いや草刈作業をしました

四月十五日に町民総参加の気仙川一斉清掃が行われました。小雨の降る中、伸びた草を刈ったり、川に浮いているビニールを濡れながら拾ったりと多くの人たちが作業に汗を流しました。川岸には、空き缶や、コンビニ袋にまとめてある弁当などのごみ、農業用ビニール、発泡スチロールなど様々なものがありました。参加者は、集めたごみを事前に配布された専用ごみ袋に分別し、近くのごみステーションに持ち寄りまし

た。ごみの多くは、捨てられたもので、参加者はモラルの低下を嘆いていました。集められたごみの量は、燃えないごみ一・七ト、燃えるごみ二・五ト、プラスチック類一・五トにも及びました。

気仙川の一斉清掃は、昭和四十七年頃から毎年行われてきました。今年も、陸前高田市と連携し、春と夏（八月五日）の二回の実施を予定しています。

## 大きく羽ばたけ！住田っ子



元気で誓いの言葉  
(世田米中で)



名前を呼ばれて緊張の新生児（下有住小学校で）

新年度になり、四月五日に中学校、六日に小学校で入学式が行われました。このうち、世田米中学校阿部正校長）では在校生による合唱が響き渡る中を、新しい制服に身をまとった新生児が入場し、希望に満ち溢れた表情で式に臨んでいました。

また、下有住小学校（黒澤元校長）の新生児は緊張しながらも、名前を呼ばれると元気に返事をしていました。式

今年の新入生数(人)

小学校	世田米	30
	下有住	4
	上有住	13
	計	47
中学校	世田米	27
	有住	19
	計	46

の後には、児童全員で一年生を迎える会が行われました。新生児は、ゲームなどをとおして、児童や先生とのふれあいを楽しんでいました。

## 交通ルールは守ります



お父さんと横断歩道を渡る園児たち

四月十四日、有住保育園で、親子交通安全教室が行われました。はじめに、上有住駐在所の松岡秀一所長から横断歩道の渡り方や交通ルールについてお話がありました。その後、親子一緒に横断歩道を渡る練習をしました。指導員さんからの指導で、手を上げて「右、左、右」と確認している園児たちの姿は真剣そのもの。安全を確認しながら横断歩道を渡ることができました。

## 間伐講習会で良質材の生産を目指す

間伐講習会が四月二日に新切地区で開催されました。良質な木材の生産を目指し、新切農林業振興会(紺野文夫会長)と馬形桜野線作業道組合(今野拓一郎会長)が主催し、泉田晴夫さん(上有住)を講師に招きました。振興会員、組合員などを中心に十五名が参加。講師の指導を受けながら、実際に山に行き実習を中心に行われました。参加者は、熟練者がほとんどでしたが、さらなる技術の向上のため汗を流しながら、熱心に間伐の作業に取り組んでいました。



講師の指導のもと実際に間伐調査をする参加者